

PERSPIRATION



2007 年度

茨城大学陸上競技部 部誌

第 2 号

陸上競技への思い

昨年、茨城大学陸上競技部の部誌「Perspiration」が創刊され、陸上競技部の歴史に新たな1ページを開くことになり、OB会としても大変うれしく思っています。

そして、現役の茨城大学の陸上競技部の皆さんが、活躍している姿を新聞報道などで拝見するにつけ、パワーと感動をいただいています。

ここで、OB会について、少し話をしてみましょう。茨城大学陸上競技部の卒業生で組織する「茨苑アスレチッククラブ...茨苑AC」が、「会則」を定めて、昭和39年1月15日に発足しています。以後、先輩諸氏の熱い思いとともに44年の歳月を経て、今日に至っています。

この会は、「会員相互の親睦研鑽を図るとともに、陸上競技を健全に普及発展させ、茨城大学陸上競技部の進展に寄与する」ことを目的としています。当時の世の中の状況や陸上競技を行う環境・レベルなどを思う時、茨城県の陸上競技の普及発展を我々の手でどうにかしなければならないという思いや現役の後輩同志に少しでも手を差し伸べていこうという心温かな思いから誕生したと聞いています。特に、茨城県の陸上競技の今があるのは、茨城大学の陸上競技を愛する先輩諸氏の熱い思いが、リーダーシップがあったからこそということを私たちは忘れてはなりません。現会長として、先輩諸氏のこの思いのもとに会の活動を存続し後輩のため支援してくれたことに厚く感謝しています。この思いを汚すことなくしっかりと活動していくよう、会員一同改めて認識していきたいと思っています。

ところで、この会が築いてきたその歴史を細かく伝える誌・記録集等はなく、現在に至ってしまいました。この度の部誌の誕生は、その意味でも未永く存続し足跡を記しておいて欲しいと願っています。

私は、高校2年生の時、体育の授業を担当してくれた先生の誘いにより、陸上競技部に入部し走り高跳びに出会いました。今、思えば、この出会いが、私の歩んだ人生に大きな影響を与えてくれました。陸上競技を通して得た先輩後輩、体育教師への道、心の支え、すべて私の生き様が、この陸上競技、茨城大学の陸上競技部があつてこそ、存在し私の人生が開き今に至っている。陸上競技（スポーツ）との出会い、スポーツのもたらすすばらしさをしみじみと思う今日でもあります。

スポーツ活動（部活動）のもたらす影響は計り知れないものがある。現役の皆さんは、陸上競技を通して交流を深め、記録への挑戦をし、自己の陶冶を極めていく、そして将来への道をしっかりと見極め掴み取る努力を惜しみなくして欲しい。又、卒業されてもこの茨苑アスレチッククラブの会員として未永く交流を深めて欲しいと願っています。

会員の皆さんには、会への支援と益々の御健勝ご活躍を祈っております。

平成20年3月

茨苑アスレチッククラブ会長 中村昌平

目 次

陸上競技への思い	茨苑アスレチッククラブ会長 中村昌平
I. 2007 年度シーズンを振り返って	1
II. 2007 年度活動報告	4
i) 大会後記	5
関東インカレ／日本インカレ／千葉対校／関東甲信越体育大会／国公立 22 大学対校／ 北関東五大学対校／国公立 22 大学対校駅伝／三浜駅伝／荒川駅伝／勝田全国マラソン	
ii) その他競技会	15
茨城県選手権／関東選手権／全日本学生チャンピオンシップ／理工系大学対校／ 関東新人／日本ジュニア選手権	
iii) その他の活動	16
審判、補助員／宇都宮大学合同合宿	
III. 2008 年度シーズンの抱負	17
IV. 2008 年度活動予定	19
V. 卒業生より	19
VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ	23
VII. 記録集	26
茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2007 年度ランキング／対校戦順位一覧	
VIII. 部員名簿	30
編集後記・連絡先	31

I. 2007 年度シーズンを振り返って

一年間を振り返って

前主将 山下弘文

今年は「全員自己ベスト」を目標に掲げ、シーズンを迎えました。自己ベストを連発した人もいれば、残念ながら自己ベストを出すことができなかった人もいますが、試合では全員が自分のベストを尽くすことができたので、その意味では目標は達成できたのではないかと思います。

また、今年は「一人一役」ということを方針にし、一人ひとり違った形でチームに貢献できる役割をきめました。この一年で、チームには一人ひとりに役割があるし、それを責任を持って果たすことで、チームは確実に成長していくということを多くの人が自覚できたと思います。今後もその気持ちを大切に、チームとして成長していきたいと思います。

主将としての役割は終わりましたが、自分の経験を下の代に伝えたり、チームに足りない部分を見つけるなど4年生としての役割があるので、チームのためにそれを果たしていきたいと思います。

最後に、自分を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

主務反省

前主務 嶋田絵里子

主務としての1年間は、振り返ってみればあっという間でした。大変なこともありましたが、それよりも主務として運営に携われたことにとっても感謝しています。私がこのように感じることも、土地先生はじめ、小川コーチ、部員みんな、そして、OBの先輩方や茨城県陸協の方々、主催してくれている学生の存在、本当に多くの方々の存在と支えがあったからであります。特に主催となった関東甲信越大会では、そのことを強く感じました。たくさんの皆様のお力を借り、無事に大会を終えることができました。改めて、競技ができる喜びと感謝の気持ちを強く感じました。

仕事の面では、私の力不足から周りの方々に迷惑をかけてしまいました。しかし、自分なりに主務という仕事を「よく」消化できたかと思っています。

これからは、次の代への引継ぎと、4年次としての役目をしっかりと果たしていきます。1年間、本当にありがとうございました。

短距離ブロックの反省

前短距離ブロック長 山下弘文

短距離は力のある新入生が5人加わり、計17名とここ数年では最も多い人数で活動をしてきました。今年は男子のマイルで3分18秒台を出せたり、女子の4継で歴代2位のタイムを出すなど、昨年を大きく上回る結果を残すことができました。また、個人でも関甲信や22大での入賞者が増え、力をつけてきていることを感じました。

しかし、個人での入賞はハードルがほとんどであり、100、200、400での入賞はほとんどありませんでした。リレーでさらに結果を出すことを考えれば、やはりこれらの種目で入賞できる力が必要となり、そのことが今後の課題であると感じました。

また、今年も故障者が多く、一年間しっかりと練習を積むことができた人があまりいないことも課題の一つです。今後はケガをしないためのケアや、ケガをした後できる練習で追い込む意識を高く持つことが大切だと思いました。

今年も中長が活躍しましたが、来年は短距離が活躍する年にできるよう全員で頑張っていこうと思います。

中長ブロック長の反省

前中長距離ブロック長 岡崎浩樹

こんにちは。2007.1~2007.12の間、中長距離ブロックのブロック長を務めさせていただいた岡崎浩樹です。

ブロック長がブロック員にたいしたことはできない。そう思ったので、自分のことは自分でやる、という考えのもとあまりこれしろあれしろとは言いませんでした。速くなってくれればいいわ、そう思いました。ただ、駅伝は勝ちたかったです。昨年度は全て(国公立22大学対校、三浜、荒川河川敷)2位でしたから。また、個人的な思いからも。

僕としては、駅伝までは個人個人で力をつけ、駅伝になって、集まったとき、皆が皆を実力で助けられるような流れにしたかったです。でも、駅伝まではおそらく、部員に対してはほったらかしに近い扱いでした。そんな状況では、「こいつ一体何したいんや?」と思われていたかもしれません。伝えることは明らかに足りませんでした。行動で示せるやろ、と思ってやっていたんですが、おそらく、この考えは甘かったと思います。でも、駅伝では、走った人走らない人、指示を出す人、それを受けて行動する人ちゃんと動いていたのは嬉しかったです。

最後に、上に立つ人たちへ参考程度に。～長といえども、その前に選手です。自分が思う良いリーダーになろうとすることは良い事だと思います。ただその時、理想のリーダーと自分自身を比べて、できないことは無理してしないほうがいいと思います。若干の余裕を持っておいたほうがいいと思います。自分は選手であることを忘れないでください。

拙い文章ですが反省とさせていただきます。

中長距離女子パートの反省

前パート長 野田春香

今年度から、中長距離ブロックの中の女子パートをつくり、新体制として活動してきました。新しいことを始めるということは、土台をしっかりとつくらなければなりません。目に見えない細かい部分もたくさんあり難しいと思う面も多々ありました。その状況を変える、軸をつくってまとまっていくということは簡単ではありませんでした。しかし、上地先生をはじめ小川さん、他ブロック長や多くの人たちのアドバイスや支えがあって、パートとして徐々に体制を築くことができたと思います。ありがとうございました。

今年度は一人ひとりの意識も高くなり陸上に対しての気持ちが強くなったと思っています。全体としては、トラック、駅伝ともに去年よりレベルアップすることができ、いい流れであったと思います。特に駅伝ではチームとして戦うことができたと思います。22 大駅伝 2 位、荒川駅伝優勝という結果でチーム全体としていい形で終えることができました。しかし、一人ひとりの結果を見てみると対校戦などでは入賞できたものの、勝負していくレベルにしていくにはまだまだ足りない面もたくさんあることを実感しました。また、怪我人を長引かせてしまうなど反省も残ります。

今後全員が更なる自己ベスト更新を目指し、全員が活躍できるパートとして中長女子を盛上げていきたいと思っています。

跳躍ブロックの反省

前跳躍ブロック長 石崎あゆみ

今年度跳躍ブロックは新たに 1 名を迎え、計 8 名で活動してきました。今シーズンは部の目標にしたがって、全員が自己ベストを出せるようにと毎日の練習を積み重ねてきました。対校戦でも皆のがんばりが得点につながることはうれしかったです。特に今年度の関カレで森が 170cm を跳び、2 位に入賞したことは素晴らしいことだと思います。他にも大きな大会の出場権を獲得し、たくさんの大会に出場していたことは選手としてももうらやましく思います。

しかし、今シーズン記録を伸ばすことができたのは 8 名中 2 名だけでした。その理由としては、怪我であったり練習内容であったりモチベーションであったり個人個人違うとは思いますが、ですが私が管理できる範囲のこともあったはずで、そこは皆とのコミュニケーション不足や私の勉強不足があげられます。これはブロック長としての一番の反省点です。

2007 年は自分も含めて女子の怪我が目立ちました。それは不慮のものであったり練習によるものであったりしますが、怪我をすることはとてももったいないことです。生活の中でも十分注意し、筋力・技術面でカバーできるものもあるので、各自反省をして来年度のシーズンにつなげてもらいたいと思います。

今はすでに新体制となって毎日の部活が行われ、シーズン中は練習についてくる立場だった後輩たちが頼もしく練習を引っ張ってくれています。跳躍ブロックが来シーズンにむけてより良くなっていくように、私もできる限りアドバイスなどしていきたいです。そして来年度も跳躍ブロックに新メンバーがたくさん入ることを期待して（特に男子）、反省とさせていただきます。一年間、本当にありがとうございました。

投擲ブロックの反省

投擲ブロック長 二見有紀乃

19 年度投擲ブロックは、弓削という 1 名の新入部員を加えて活動をしてきました。昨年度はほとんど 1 人で活動してきた私にとって、はじめは新鮮で違和感さえありました。新メンバーが新しい環境に慣れ、いい雰囲気練習が出来るように努めた結果、仲の良さはどのブロックにも負けにくいものになったのではないかと考えています。

競技面では、弓削に関しては、日本ジュニア選手権 8 位入賞、自己ベスト更新など好成績を収め、年間を通して安定した良い結果でした。一方、ブロック長でもある自分が、不本意なシーズンを送ってしまい、そういった面でブロックを引っ張ってあげられなかったこと、チームの目標でもあった「全員自己ベスト」を達成出来なかったことが、反省点です。4 年生の水澤さんは、一緒に活動することはあまりなく、試合の出場も厳しいかと思われましたが、忙しい合間を縫って五大に出場出来たので良かったです。

投擲ブロックは、常に人数が少ない状況ではありますが、この 1 年でようやくしっかりブロックとして成立してきたように思います。20 年度も私が引き続きブロック長を務めます。厳しさの中にも陸上競技をすることの楽しさを忘れず、更にいいブロックに出来るよう、私自身も日々精進して参りたいと思います。

マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 高橋友

去年、前ブロック長の美穂さんからブロック長を引き継ぎ、1年間ブロック長としてマネージャーを引っ張ってきました。引き継いで間もない頃は、美穂さんの後を継ぐという大役は私にはできないのではないかと正直戸惑いました。しかし、4人のマネージャーがいつも支えてくれたおかげで、特に大きなミスもなくブロックにとってはとても充実した一年になったと思います。

去年の部誌に書いた抱負について反省してみたいと思います。まず人数を活かして効率よく動くということに関しては、みんなで仕事内容を見直して、部活動中だけでなく、試合中も去年より効率よく仕事ことができました。また積極的に仕事もできたと思います。マネージャーの去年の目標は「全員が自己ベストを出せるような環境を常に作る」でした。これはなかなか自分達では評価できませんが、いつも選手の1人1人がベストを出せるような環境づくりはしてきたつもりです。実際にたくさんの方が自己ベストを出した1年でもあったので、マネージャーブロックにとっては自分たちのことのようにとても嬉しい出来事でした。そして積極的に仕事をすることで、マネージャーからも部を盛り上げてくれたのではないのでしょうか。唯一反省点としては、まだ小さいことや細かいことにはなかなか気づけないということです。些細なことではありますが、練習中や試合中の誰も気づかないような小さなことはたくさんあります。それを気づかなければならないのはマネージャーであるし、そういった小さなことはマネージャーにしかできないことです。そういったことを今後も視野を広くして部を見て欲しいと思います。普段の仕事と言えるものの他にもさらに一歩進んで仕事ができればよかったなと思いました。

1年間本当に先生や選手のみんな、マネージャーのみんなに支えられて仕事をやり遂げることができました。特に2年生のマネージャーの2人は私以上に仕事熱心で、助けられることも多く本当に感謝しています。きっと2人なら新年度になってもマネージャーとしてしっかり仕事をしてくれると思います。新年度はさらに充実した部活になるようにマネージャーブロックも頑張りましょう！1年間ブロック長として仕事をさせていただきありがとうございました。



仲良し☆中長女子



美人マネージャーさん♪

Ⅱ. 2007 年度活動報告

2007 年度活動内容

日程	大会名	会場
5/12-13 18-19	第 86 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	国立競技場
6/8-10	第 76 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	国立競技場
6/29-7/1	日本陸上競技選手権大会	長居（大阪）
7/6-8	茨城県陸上競技選手権大会	笠松
8/4	第 42 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉
8/12	国体予選	笠松
8/17-19	第 80 回関東陸上競技選手権大会	等々力（神奈川）
8/25-26	第 56 回関東甲信越大学体育大会（主催校）	笠松
9/8-9	全日本学生チャンピオンシップ	平塚（神奈川）
9/22-23	第 18 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場
9/28-30	第 22 回国公立 22 大学対校陸上競技大会	緑が丘（山梨）
10/5-9	国民体育大会	中央公園（秋田）
10/27	第 58 回北関東五大学対校陸上競技大会	敷島（群馬）
10/27	関東学連秋季オープン競技会	国立競技場
11/25	第 6 回国公立 22 大学対校駅伝大会	昭和記念公園
12/2	三浜駅伝	ひたちなか
12/16	第 8 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷
12/25-27	宇都宮大学合同合宿	笠松
2008/1/20	日立駅伝	日立
1/27	第 56 回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/3-7	春合宿	エコパ（静岡）
3/30	楮川駅伝	楮川ダム（水戸）

日立駅伝でのひとコマ



今年は、短・長・跳・投・マネ、の全ブロックが参加しました！！

i) 大会後記

第 86 回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2007/5/12~13, 5/18~19 : 国立競技場、ハンマー投 : 日大)

山下主将率いる新体制のもと、最初の対校戦となったのが、この関東インカレ。関東圏内の国公立の大学全てが集まる、対校戦の中では、非常に大きな試合である。

天候にも恵まれ開幕となったが、最終日だけはあいにくの雨だった。そんな天候をものともせず、森が走高跳で準優勝という素晴らしい成績を取めた。また、2日目には女子ハンマー投で弓削が8位入賞し、1年生ながら堂々と大舞台上で戦い健闘した。男子の4×100mRも決勝まではあと一步というところだったが、各々がいい走りが出来、今後に向けて良い手応えを掴んだレースとなった。その他茨城大学からの出場種目及び結果は以下の通りである。

今回出場した人も、そうでない人も、レベルの高い試合を観て何かしらを得るものがあった大会となった。チームの士気も高まり、今後の対校戦に向けて大きな一歩を踏み出した。(文責:二見有紀乃)

種目	記録	氏名	順位等
男子 4×100mR 予選	42.26	山本・沼尻・西尾・中野	
女子 4×100mR 予選	49.68	石崎・生井・鈴木(麻)・森	
男子 200m 予選	22.95(-1.1)	沼尻 健寿	
男子 800m 予選	2.00.32	吉田 佑	
男子ハーフマラソン 決勝	1.10.04	渡辺 雄馬	茨大新
女子ハンマー投 決勝	41m55	弓削真理子	8位
女子ハンマー投 決勝	38m43	二見有紀乃	
女子 4×400mR 予選	4.15.96	吉原・鈴木(麻)・石澤・嶋田	
男子 4×400mR 予選	3.22.04	山下・山本・沼尻・上杉	
男子 400m 予選	50.40	沼尻 健寿	
男子 110mH 予選	16.16(-0.4)	後藤 雅彦	
男子 100m 予選	11.50(-2.4)	沼尻 健寿	
女子走高跳 決勝	1m70	森 あゆ美	2位



森 準優勝！！



弓削 8位



2走沼尻から3走西尾へのバトンパス

第 76 回日本学生陸上競技対校選手権大会

(2007/6/8～10 国立競技場、代々木公園陸上競技場)

6月8日～10日に国立競技場（ハンマー投：代々木公園陸上競技場）にてICが行なわれた。本大学からは、二年連続出場の二見、森、新入生の生井、弓削の4人の女子選手が出場した。1日目に行なわれたハンマー投げには二見、弓削のコンビが出場した。二見は先輩としての意地を見せ3投ともしっかり記録を残してきた。彼女のベストからすると記録的には満足のいくものではなかっただろう。しかし、一投一投修正を加え記録を伸ばしてきていた。1年生ながら関カレでも見事に8位入賞の弓削は、大学初の全国大会出場ということもあり彼女もまた記録的には満足のいくものではなかったが、今後に活かせる良い経験となったはずだ。2日目、100mHに1年生の生井が、走り高跳びに森が出場した。唯一のトラック種目の出場となった生井だが、まだまだベストには届かない走りとなってしまった。入学後2試合目の今大会は、大学というレベルを身もって感じる事ができただろう。同日、走り高跳びに出場した森は、優勝記録に届く力を持っていた。しかし、優勝・1m71の自己ベスト更新はお預けとなってしまった。本人も跳躍の難しさを感じてはいたはず。2年目ということもあり、暑さの中の試合運びには経験が活かされていた。今回は、競技場が2ヵ所に分かれてしまい応援に来て下さった皆様には大変お手数をおかけしました。たくさんの応援の声は選手たちの大きな力となったことでしょう。今後、茨城大学からも入賞者が出るよう練習にもより一層高い意識を持って取り組んでいきたい。（文責：生井美有）

結果（出場者）

種目	記録	氏名
女子ハンマー投	39m60	二見有紀乃
女子ハンマー投	39m44	弓削真理子
女子100H予選	15.57(-0.2)	生井 美有
女子走高跳	1m65	森 あゆ美



★ハンマー姉妹★



生井



森

第 42 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦

(2007/8/4 千葉県総合：千葉)

今年度の千葉大学との対校戦は、千葉県総合スポーツセンター陸上競技場にて開催された。強い風が吹く中、2年次以上の活躍にとどまらず、1年次の活躍も多くみられた。大会を締めくくる4×400mRでは、選手の踏ん張りに大きな盛り上がりを見せ、応援にも力が入り、選手の力となったのではないだろうか。この対校戦は、専門種目だけでなく、ほかの種目に挑戦できるのが面白いところでもあるだろう。男子においては、フィールド種目でトラック種目の選手方が出場された。

総合では男子が準優勝、女子が優勝という結果となった。男子は昨年度に引き続いて総合優勝を逃している。今後は、フィールド種目で選手の層を厚くすると同時に、どの種目においても一点でも多く点が取れるようにするなど努力が必要になってくると思う。

また、今回よい環境の中で試合ができたのは、千葉大学や千葉陸協の方々の運営のおかげだと思っている。感謝の気持ちを忘れることなく、来年は男女ともに総合優勝を狙いたい。(文責：渡邊学)

千葉対校結果 (優勝者のみ)

種目	記録	氏名
男子 100m	11.62(-3.9)	和田 和幸
男子 5000m	15.43.74	秋山 陽祐
男子 110mH	16.13(-0.8)	後藤 雅彦
男子 400mH	55.94	山下 弘文
男子 3000mSC	9.47.67	岡崎 浩樹
男子 4×100mR	43.57	茨城大 A (後藤・上杉・西尾・和田)
女子 100m	13.10(-4.3)	生井 美有
女子 200m	27.60(-3.4)	生井 美有
女子 400m	63.70	鈴木 麻理
女子 800m	2.23.16	嶋田絵里子
女子 1500m	4.43.62	野田 春香
女子 3000m	10.13.94	野田 春香
女子 100mH	15.48(+1.0)	生井 美有
女子 4×100mR	49.60	茨城大 A (石崎・生井・鈴木(麻)・森)
4×400mR	4.11.10	茨城大 A (鈴木(麻)・石澤・嶋田・生井)
女子走高跳	1m65	森 あゆ美
女子走幅跳	5m20(+2.9)	森 あゆ美
女子三段跳	11m48(+5.8)	石崎あゆみ
女子砲丸投	10m53	弓削真理子
女子円盤投	32m89	二見有紀乃



第 56 回関東甲信越大学体育大会

(2007/8/25～26 笠松：茨城)

本年度の関甲信は茨城大学が主催した。3 年次を中心に準備を進め、茨城陸協の方々、OB の方、補助員の高校生と多くの方々の協力の下、無事に大会を終えることができた。一つの大会を開催することの大変さ、そして、何より多くの人の協力があったからこそこの大会だということを改めて感じる事ができた。

普段から練習で使っているホームグラウンドである笠松での試合、地元の方々、いつもお世話になっている陸協の方々が見てくださっているということで、いつもとはまた違った面持ちで試合に臨んだ人も多かったのではないかと。総合結果は男子 8 位、女子 4 位だった。男子は 7 位とは 2 点差であったものの上位校との点数差は大きく、この大会においてもまた力の差を思い知らされてしまった。個人の結果は下に並べたように、去年に比べて短距離の入賞者がいないのは残念だが、1 年生の活躍もあり、ハードルでの入賞者が増えたことは嬉しい。30 度を越すような炎天下での競技、思うような記録が出ない人が多い中、運営面でも引っ張ってくれた山下をはじめ岡崎、河野の自己ベスト、また多数の 3、4 年生の上位入賞には皆が刺激を受けたことだろう。

朝早くからの準備、そして競技、応援、片付けととても充実した大会であったと思う。最後にとった集合写真のみんなの笑顔は印象深い！！

来シーズンはより多くの選手が上位争いに食い込めるように、そして男女ともに 1 つでも総合順位を上げたい。

(文責：尾崎友美)

関甲信結果 (入賞者及び自己新)

種目	記録	氏名	順位等
男子 800m	1.58.96	河野 光由	自己新
男子 1500m	3.59.63	岡崎 浩樹	4 位・自己新
男子 5000m	15.19.64	秋山 陽祐	2 位
男子 5000m	15.23.13	渡辺 雄馬	3 位
男子 110mH	15.74(+0.1)	後藤 雅彦	6 位
男子 400mH	54.30	上杉 明弘	3 位
男子 400mH	55.26	山下 弘文	7 位・自己新
男子 3000mSC	10.10.22	手倉森洋人	7 位
男子 4×100mR	42.96	後藤・和田・西尾・中野	7 位
女子 3000m	10.03.69	野田 春香	2 位
女子 3000m	10.07.25	笥 千佳	3 位
女子 100mH	14.71(-0.7)	生井 美有	4 位
女子 100mH	15.96(-0.7)	石崎あゆみ	8 位
女子 4×100mR	49.26	石崎・生井・鈴木(麻)・森	4 位
女子走高跳	1m65	森 あゆ美	2 位
女子走高跳	1m50	尾崎 友美	5 位
女子砲丸投	10m71	弓削真理子	2 位
女子円盤投	36m00	二見有紀乃	3 位



4 継メンバー☆



3 年生 運営お疲れ様でした！！



全員集合

第 22 回国公立 22 大学対校陸上競技大会

(2007/9/28 - 30 緑が丘 : 山梨)

山梨県甲府市の雄大な山々に囲まれた緑が丘スポーツ公園の競技場で、1 日目は最高気温 30℃を超える快晴、2・3 日目は一転 20℃を下回り雨が降りしきる天候の中での戦いとなった。そんな中でも、自己新 6 名、優勝 4 種目を含め 26 個の 8 位入賞を果たすことができた。悪天候にうまく対応できたこともあるが、それをものともしない力をつけたことが証明できたのではないだろうか。また、野田が 1500m で、秋山が 5000m で茨大新を叩きだし、ハンマー投・円盤投で二冠を果たした二見が優秀選手賞を獲得するという、大変大きな収穫のあった大会であった。総合順位は、男子 10 位、女子 3 位となり、女子は優勝争いにも絡む躍進を見せた。まだ多いとはいえない人数の中でも、短・中・長距離、跳躍、投擲、どのブロックでも点を獲得できるようになったことが大きい。しかし、東北の大会と重なったため今回の参加校は少なく、他大学との勝負にはまだまだ課題が多い。

今大会は、福島大学の主催が困難になり一時開催も危ぶまれたが、山梨大学が引き受けてくれたことで無事開催に至った。22 大という大変大きな大会の主催を負いつつも、山梨大学の選手は上位に名を連ね、ほんの数十分前、開会式でスーツ姿だった選手が力走してしっかり結果を残していたのは印象的だった。見習うべきものは多い。

来年は、遠き静岡の地で行われる。茨大陸上部とはなにかと縁のある静岡。大きな後押しとなってくれることは間違いないので、万全の準備で挑み、結果を残したい。(文責：吉原さゆり)

国公立 22 大学対校 (8 位入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 800m	2.04.12	吉田 佑	第 8 位
男子 1500m	4.03.13	岡崎 浩樹	第 6 位
男子 5000m	14.55.65	秋山 陽祐	第 7 位 (茨大新)
男子 10000m	32.33.49	秋山 陽祐	第 4 位
男子 400mH	55.54	山下 弘文	第 6 位
	55.65	上杉 明弘	第 7 位
男子 4×400mR	3.23.16	山下・沼尻・中野・上杉	第 8 位
(予選)	3.18.79	山下・沼尻・中野・上杉	1 着
女子 400m	59.87	鈴木 麻理	第 6 位
女子 800m	2.20.45	嶋田絵里子	第 4 位
	2.21.67	石澤ゆかり	第 7 位
女子 1500m	4.33.51	野田 春香	優勝 (茨大新)
	4.41.92	笥 千佳	第 5 位
女子 5000m	16.55.37	野田 春香	第 3 位
	17.28.48	笥 千佳	第 7 位
女子 100mH	15.20(+0.1)	生井 美有	第 5 位
女子 4×100mR	49.45	石崎・生井・鈴木(麻)・森	第 4 位
女子 4×400mR	4.06.10	鈴木(麻)・石澤・嶋田・生井	第 6 位
女子走高跳	1m59	森 あゆ美	第 4 位
	1m50	尾崎 友美	第 5 位
女子三段跳	11m11(+0.2)	石崎あゆみ	第 5 位
女子砲丸投	10m99	弓削真理子	優勝
	9m47	二見有紀乃	第 4 位
女子ハンマー投	42m95	二見有紀乃	優勝
	41m29	弓削真理子	第 2 位
女子円盤投	34m74	二見有紀乃	優勝
	21m48	荒木 千尋	第 8 位



第 58 回北関東五大学対校陸上競技大会

(2007/10/27 敷島：群馬)

2007 年最後のトラックレースは、昨年 22 大学対校戦が行われた群馬の敷島競技場で開催された五大学対校戦だった。今年は、昨年よりも順位を上げるという目標で出場した選手は、それぞれがベストを尽くした。結果は、男子トラック 3 位、フィールド 5 位で総合 4 位だった。フィールドは、昨年同様 5 位という残念な結果だったが、今年はトラックでも昨年より順位を一つ落としてしまった。しかも、この 3 位という結果もハードル、長距離選手が得点源となり短距離選手は上位 3 位に入れた人はいなかった。これからは、特に短距離とフィールドのレベルアップが鍵になってくると思う。女子はトラック 1 位、フィールド 1 位で完全制覇という快挙を達成した。全体的に見ても高いレベルで戦えたと思う。男子、女子共に個々の力はまだまだ伸びる可能性があるように感じられる大会だった。来年は茨城大学が主催ということで、今年以上の結果を目指していかなければならない。男子の総合順位の向上はもちろんのこと、女子も個人で一つでも上の順位を目指したい。部員のみならず、4 年生と院生の皆さんのマイルのパワーに負けないように頑張っていきたいと思います。

(文責：小河 純)

五大学対校結果 (優勝および自己新)

種目	記録	氏名	順位
男子 5000m	4.07.23	岡崎 浩樹	優勝&自己新
女子 800m	2.20.60	嶋田絵里子	優勝
女子 4×100mR	49.68	石崎・生井・鈴木(麻)・森	優勝
女子走高跳	1m65	森 あゆ美	優勝
女子三段跳	11m32(-0.5)	石崎あゆみ	優勝&自己新
女子砲丸投	10m55	弓削真理子	優勝
女子円盤投	32m96	二見有紀乃	優勝
男子 400m	52.89	山本 悠輔	自己新
男子 3000mSC	9.56.94	佐藤 伸行	自己新
女子 400m	63.91	吉原さゆり	自己新



悪天候の中、皆さん頑張りました！！

第6回国公立22大学対校駅伝大会

(2007/11/25 昭和記念公園：東京立川)

男子は、1位の信州大学と20秒差、2位の新潟大学と9秒差と、前大会同様非常に僅差で敗北を喫してしまった。4区～6区で区間賞を取っていても勝利に結びつけることができなかった。その一方、信州大学は一人も区間賞がないのにも関わらず優勝。今大会は、駅伝はチームの総合力が必要だということを改めて思い知らされた大会であった。

女子は男子同様、あと一歩及ばずの2位となった。今大会は前大会よりもハイレベルなレースとなった。そんな中でも上位をキープしていたことから、チームレベルは前大会よりも確実にアップしていることが分かる。したがって、次大会に向けては選手一人ひとりの走力のアップが必要になるであろう。(文責：高野和文)

男子結果 1.56.56 (36.6km) 総合3位

1区 秋山 陽祐 (4年)	33.26 (10.3km) 区間6位
2区 手倉森洋人 (2年)	9.21 (3.0km) 区間3位
3区 川瀬 大智 (4年)	24.34 (7.5km) 区間8位
4区 蓮田 大樹 (2年)	16.41 (5.3km) 区間1位
5区 岡崎 浩樹 (3年)	16.44 (5.3km) 区間1位
6区 渡辺 雄馬 (3年)	16.10 (5.2km) 区間1位

女子結果 0.54.21 (15.7km) 総合2位

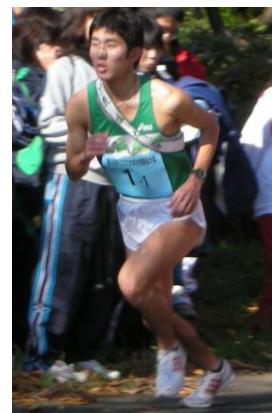
1区 笥 千佳 (3年)	17.51 (5.2km) 区間2位
2区 嶋田絵里子 (3年)	10.47 (3.0km) 区間2位
3区 石澤ゆかり (1年)	7.59 (2.3km) 区間2位
4区 野田 春香 (3年)	17.44 (5.2km) 区間1位



ブロック長岡崎→渡辺



川瀬



エース秋山



石澤→野田へ

三浜駅伝

(2007/12/2 ひたちなか)

平成 19 年 12 月 2 日にひたちなか市と大洗町の三つの浜をまたがる海岸沿いの道路を使ったコースで、三浜駅伝が開催された。この大会には、一般 A の部に茨城大学男子チームが出場した。昨年この大会は 2 位、一週間前の 22 大駅伝は 3 位という悔しい結果から、チーム全員がこの大会にかける強い思いがあった。

レースは、序盤は先頭から遅れたが、3 区川瀬、4 区秋山の連続区間賞で一気にトップに立った。その後はトップを維持し、最後は、6 区アンカー渡辺が区間賞の走りで笑顔のゴール。2 年ぶりにこの大会を制することができた。すべての駅伝を通じて、駅伝で久しぶりに勝つことができ、いい結果だったと思う。区間賞を取った 3 人以外にも、区間上位だったので、チーム全員がいい走りができた。この大会はチームの実力をしっかり出し切ることができ、今後の駅伝にもつながる収穫のあるレースとなった。(文責：井川勝彦)

結果：男子総合 1 位

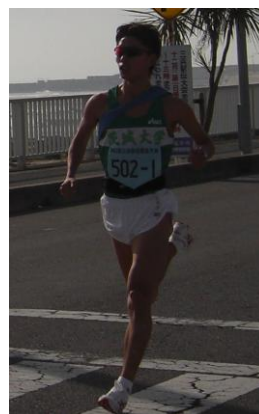
33.9km	1 区 6.1km	2 区 7.5km	3 区 3.3km	4 区 6.8km	5 区 4.5km	6 区 5.7km
茨城大学	岡崎浩樹	蓮田大樹	川瀬大智	秋山陽祐	手倉森洋人	渡辺雄馬
区間	18.22 (3)	23.51 (3)	9.49 (1)	20.23 (1)	14.14 (2)	16.45 (1)
総合	18.22 (3)	42.13 (2)	52.02 (2)	1.12.25 (1)	1.26.39 (1)	1.43.24 (1)



中長の皆さん、お疲れでした！！



区間 1 位の秋山



ブロック長岡崎の快走

第8回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2007/12/16 荒川河川敷：東京)

12月16日に荒川河川敷で荒川駅伝が開催された。この大会は昨年男女ともに2位という悔しい結果に終わっていたので、今年は男女アベック優勝という大きな目標を持って出場した大会であった。結果は、男子が2位、女子が見事優勝というものだった。

男子は、1区秋山が7位で襷をつなぐと、2区手倉森がごぼう抜きに迫る4人を抜いて3位に浮上。そして3区川瀬、4区渡辺の二人がともに区間賞をとると見事トップに立った。5区蓮田も区間2位という走りをみせたが、防衛大に惜しくも抜かれてしまった。6区岡崎はトップを追う展開となり力走を見せたが、防衛大のエースに追いつくことが出来ず惜しくも2位という結果だった。

女子は、1区野田が大会新となる圧倒的な走りでトップで襷をつなぐと、2区吉原が短距離ながら見事な走りでトップをキープ。3区寛が区間賞の走りで後続を突き放し、4区嶋田につなぐ。嶋田も力強い走りでトップをキープして襷をつなぐと5区の石澤は、区間賞の走りで優勝を飾った。

女子は優勝だったが、男子は今年も2位という悔しい結果だったので、今後しっかり練習をして来年は男女アベック優勝できるよう頑張っていきたい。(文責：河野光由)

男子2位 2時間14分02秒

	1区10km	2区3km	3区8km	4区8km	5区5km	6区8.195km
	秋山陽祐	手倉森洋人	川瀬大地	渡辺雄馬	蓮田大樹	岡崎浩樹
区間	31.45 (7)	9.12 (3)	25.08 (1)	25.09 (1)	15.42 (2)	27.06 (9)
総合	31.45 (7)	40.57 (3)	1.06.05 (1)	1.31.14 (1)	1.46.56 (2)	2.14.02 (2)

女子1位 2時間07分33秒 (大会新)

	1区10km	2区3km	3区8km	4区8km	5区5km
	野田春香	吉原さゆり	寛千佳	嶋田絵里子	石澤ゆかり
区間	34.32 (1) 区間新	14.11 (?)	29.37 (1)	30.35 (2)	18.38 (1)
総合	34.32 (1)	48.43 (1)	1.18.20 (1)	1.48.55 (1)	2.07.33 (1)



男子と張り合う野田!



ホープ手倉森



安定感抜群の嶋田



短距離吉原

第 56 回勝田全国マラソン

(2007/1/27 ひたちなか)

今年も陸上部には毎年恒例となっている勝田マラソンが1月27日、ひたちなか市で開催された。そして今年も4年生全員がフルマラソンに出場した。また3年次以下でも中長距離ブロックからは男女数名ずつがフルマラソン、10kmの部に出場した。

4年生にとっては、大学での競技生活を締めくくるための大会である。しかし、この時期は論文作成などでも忙しい時期であり、合い間を見つけてはマラソンに向けて練習するなどとても大変であったろうと思う。その中でも秋山陽祐(4年)が果敢な走りで昨年7位の雪辱を晴らす、3位入賞を果たした。ほかの4年生方も続々とゴールをし、また数名の方も6時間は切れなかったものの最後まで諦めず、4年生全員が無事ゴールすることができた。3年次以下では女子10kmで野田春香(3年)が秋山同様、去年7位の雪辱を晴らす2位入賞を果たした。

この勝田マラソンは、別々の競技をしてきた仲間が4年間で初めて42.195kmという同じ目標に向かって走るという素晴らしい大会であると思う。きっと今回のマラソンが4年生全員のよき思い出になったことと思う。4年生の皆さん、本当にお疲れ様でした。(文責：手倉森洋人)

勝田マラソン結果

男子フルマラソン					
順位	記録	氏名	順位	記録	氏名
3位	2.24.46	秋山陽祐(4年)	3675位	5.27.06	青木卓也(4年)
31位	2.39.33	蓮田大樹(2年)	3785位	5.35.24	川瀬大智(4年)
88位	2.48.37	手倉森洋人(2年)	3885位	5.44.17	鈴木昇平(4年)
537位	3.17.00	佐藤伸行(4年)	?位	6.??.??	小川孝(院2)
2827位	4.39.17	佐藤耕二(院1)	?位	6.??.??	沼尻健寿(4年)
3390位	5.06.31	高藤清人(4年)	?位	6.??.??	水澤貴之(4年)
女子フルマラソン					
?位	6.??.??	鬼澤美穂(4年)	?位	6.??.??	川瀬智美(4年)
男子10km(39歳以下)					
58位	0.37.16	高野和文(2年)	59位	0.37.17	井川勝彦(2年)
女子10km(39歳以下)					
2位	0.34.16	野田春香(3年)	12位	0.38.50	嶋田絵里子(3年)
9位	0.37.23	石澤ゆかり(1年)			



4年生&院生の皆さん、フルマラソンお疲れ様でした！！

ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権 (2007/06/23, 07/06~08) 8位入賞者及び自己新

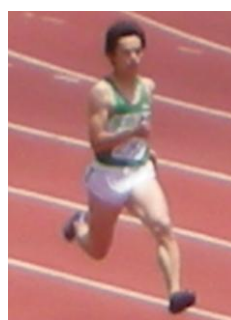
	種目	記録	氏名	順位等
06/23	男子 10000m	32.05.60	秋山 陽祐	8位
	男子 10000m	35.30.72	野田 春香	3位
07/06	女子 1500m	4.40.55	野田 春香	7位
	女子 4×100mR	48.82	石崎・生井・鈴木(麻)・森	1位
	女子走高跳	1m65	森 あゆ美	1位
07/07	男子 100m 予	11.17(+0.5)	西尾謙次郎	自己新
	男子 100m 準	11.16(+0.8)	山本 悠輔	自己新
	女子 100mH	14.79(+1.4)	生井 美有	3位
	女子 800m	2.20.65	石澤ゆかり	3位
		2.22.38	嶋田絵里子	5位
	男子十種競技	4668点 (12.18, 55.93, 5m41, 1m55, 7m35/18.13, 24m93, 35m41, 3m50, 5.04.23)	佐藤 耕二	6位
07/08	女子三段跳	11m08(+0.2)	石崎あゆみ	4位
	男子 400mH	54.67	上杉 明弘	3位
	女子 200m	25.80(+1.3)	鈴木 麻理	4位

その他の競技会 (入賞者のみ掲載)

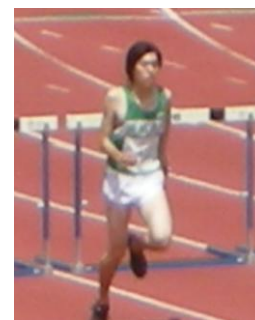
大会名	日時 (会場)	種目	結果	出場者	順位等
関東選手権	8/17~19 (等々力)	女子 800m	2.22.02	嶋田絵里子	8位
		女子 1500m	4.39.33	野田 春香	優勝
		女子 5000m	16.54.88		8位
		女子 4×100mR	49.18	石崎・生井・鈴木(麻)・森	4位
		女子走高跳	1m65	森 あゆ美	3位
		女子ハンマー投	42m14	弓削真理子	5位
全日本チャンピオンシップ	9/8 (平塚)	女子 1500m	4.47.49	野田 春香	3位
関東理工系大学対校	9/8,9 (鴻巣)	800m	2.01.87	河野 光由	7位
		300mSC	10.04.66	手倉森洋人	7位
関東新人	9/15,16 (国立)	女子 1500m	3.56.42	秋山 陽裕	茨大新
		1500m	4.50.90	石澤ゆかり	3位
日本ジュニア選手権	10/19 (大分)	女子ハンマー投	43m98	弓削真理子	8位
守谷ハーフマラソン	2/10 (守谷)	女子ハーフマラソン	1.15.58	野田 春香	優勝・茨大
日本学生ハーフマラソン	3/9 昭和記念公園	ハーフマラソン	1.09.28	秋山 陽裕	茨大新



4 継 表彰台にて



快走した高藤☆



上杉 3位

iii) その他の活動

協力審判員活動について

私たち茨城大学陸上競技部は、今年度も様々な形で陸上競技と関わってきた。そのうちの1つが、この協力審判員活動である。今年度は昨年度よりも多くの活動に参加することができた。そして、この活動を通して自分たちが競技をするだけでは陸上競技大会は運営できないことを再認識することができた。私たちの活動によって、少しでも日頃お世話になっている陸協に貢献できていればと思う。

今後の活動として、来年度も積極的に参加することができるように頑張りたいと思う。そして、この活動を通して、迅速かつ正確な判断力を持った、全ての選手の手本になるような選手になることを目指していきたい。(文責：高野和文)

☆ 主な活動

跳躍審判、投擲審判、監察員、周回記録員、風力計測員、写真判定員、記録員、競技者係、出発係、光波計測

平成 19 年度審判補助員活動一覧

年月日	大会名
2007.4.14	リレー選手権
5.3	中学記録会
5.20	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会
6.2	第2回記録会
6.9	中学記録会
6.16	中学記録会
6.30	全日本中学通信陸上競技大会
7.1	全日本中学通信陸上競技大会
7.7	茨城県選手権大会
7.8	茨城県選手権大会
9.30	第22回国公立22大学対校陸上競技会
10.21	第29回茨城県小学校陸上競技大会
12.24	第5回全日本大学女子選抜駅伝競走
2008.1.2-3	東京箱根間往復大学駅伝競走

茨城大・宇都宮大学合同合宿

短距離ブロックとフィールドブロックが毎年行っている宇都宮大学との合宿、今年は千葉大学さんと長距離ブロックも参加し、昨年よりも大人数となり3大学が合同で12月25日～27日に行った。例年通り、初日の午前中の競技場以外は、旅館周辺の浜坂、坂での練習となった。

初日はまだ初対面同士、お互い遠慮がちであったもののだんだんと打ち解け、フォームを指摘しあったり、冗談も交えた会話も弾んだり、和気藹々とした雰囲気、辛いメニューであっても楽しく練習できた。フィールドブロックでは、夜にミーティングを開き各大学のメニューを交換し、普段疑問に思っていることや細かな練習のやり方などお互い聞き合った。

2日目の午前中には、高校生(水戸一高校と佐和高校)が参加し短距離ブロックは浜坂でのエンドレスリレーを行った。

最終日は、長距離、フィールド、短距離合同でエンドレスリレーを5本3セット行った。全員とはいえず、5、6チームに分かれて戦ったため呼吸が整う前に、また自分の番が回ってきてフィールドブロックにとっては一番辛いメニューであった気がする。

次に大学同士が顔を合わせるのはシーズンでの対校戦である。良きライバルとして刺激しあえる記録を出して戦いたいと思う。(文責：尾崎友美)

Ⅲ. 2008 年度シーズンの抱負

今シーズンの抱負

主将 山本 悠輔

今シーズンの茨城大学陸上競技部の目標は「対校戦において総合優勝を勝ち取る」です。この目標を達成するためにチーム一丸となって同じ方向を向くことができるようチームをまとめていきます。目標を達成するには、競技はもちろん応援、サポートなどどれも不可欠です。一人ひとりが様々な形でチームのために頑張ってください。そのためにまず皆には茨城大学陸上競技部をもっと好きになってほしいと思います。大好きなチームのために一人ひとりが力を発揮する、そのようなチーム作りが私の理想です。

また、私は陸上競技を楽しめるような雰囲気を作っていきたいと考えています。「楽しむ」ということは競技に精一杯打ち込むためのモチベーションとなります。個々にとって陸上競技が「真剣に楽しめる」ものになるように工夫していきたいと思います。

個々が目的意識を持ち、切磋琢磨しあいながら質の高い練習を作っていくことがそれぞれの「自己ベスト」へとつながり、最終的にそれが私たちの目標達成につながるのです。一年間頑張ってください。

また、今年は北関東五大学対校陸上競技大会の主催校となっています。OB・OGの方々にはお世話になることが多いと思いますがよろしくお願いします。部員一同、主催校の名に恥じないパフォーマンスで大会を盛り上げ、成功へと導けるよう努力していきますので応援よろしくお願いします。

今シーズンの抱負

主務 鈴木 遼

今年度、主務を務めさせていただきます。昨年は絵里子さんが茨大主催の関甲信をはじめ、選手の登録、大会へのエントリーなど、大変忙しかったと思いますが、ミスもなく私たちを率い、支えてくれました。私も、選手により良い状態で試合に参加してもらえよう主務としてできることをしていきたいと思っています。まず、選手、大会のエントリーなど仕事をミスなくしっかりとこなすこと。また、主将の悠輔、副務の二見、吉原が中心となる私たちの代はもちろん、部員全員とうまく連携をとっていけるよう活動していこうと思います。主務としてはもちろんですが、選手としても部に貢献できるよう、努力していくつもりです。また、今年度は茨城大学が五大の主催校として大会を運営していきます。茨城大学陸上部の部員はもちろん、OB、OGの方々には大変お世話になるかと思いますが、ご協力よろしくお願いします。

短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 山本 悠輔

今シーズンの短距離の目標はチームの起爆剤となるような活躍をするということです。短距離ブロックの活躍によって他ブロックに刺激を与え、他ブロックの頑張りから刺激をもらって、私たちもより熱く燃えるという良いサイクルを目指して競技に臨んでいきたいです。

チームの起爆剤になるためにはまずリレー種目で上位に入ることが必要であると思います。なぜならリレー種目の勢いはそのチームの勢いを表すと考えているからです。そのためにまずは対校戦の初戦である関東インカレの両リレーで決勝に進み、勝負をすることを目標に戦っていきます。それが今シーズンのチームの勢いにつながると信じています。

また、今シーズンは全員で戦い抜くことを目標にしています。近年、シーズンを通して怪我なく戦うことができた選手はわずかです。怪我で全力を出すことができない...それが短距離の低迷につながっていると思います。逆に言えば、怪我なくシーズンを送ることができた選手は結果を出しています。身体に対する意識を高く持ち、常に戦える状態を作ることができれば、冬季練習の成果を結果につなげることができると思います。

現在女子メンバーも増え、明るい雰囲気で練習に臨んでいます。今年こそ飛躍の年になるよう一丸となって頑張ってくださいので応援よろしくお願いします。

中長距離ブロックの抱負

中長距離ブロック長 蓮田 大樹

中長距離ブロックの抱負は、長い間言われ続け、また十分自覚しているところである、現2年次以下と現3年次以上の実力差を少しでも縮め、そして一人でも多く対校戦で点を取りに戦えるようになることです。先シーズンまでの成績は、ほぼ現3年次以上の先輩によるものなので、とにかく現1・2年次は速くならないとまずい、ということです。

しかし、それをむやみに意識しすぎて多くのことを一度に求めてしまっても無理なので、現状と向き合って必要な課題を一つずつ、また、そのなかでタイムを求めていくことももちろん大切だけれど、タイム（結果）は後からついてくるもの、ということも大切にして、いい走りというか、納得のいく走りをするための練習を心がけていきます。

足りないところは多く、解決策も手探りで、時間も限られているからこそ、いろいろなものを受け入れながら信じられるものを精一杯やっつけていこうと思います。

中長女子パートの抱負

中長女子パート長 鶴見 彩

昨年度は、対校戦、駅伝ともに大きな活躍が見られた年でした。確実にチームの力は上がっています。しかし、その一方で個人の力に頼っていたと言っても過言ではないと思います。唯一アンカーで区間賞をとった22大駅伝では、それが浮き彫りとなりました。

今年度は、「全員関カレ標準突破」を「最低目標」にかかげ、一人ひとりがどの大会でも勝負できるような力をつけていきたいと思っています。そのためには、今まで以上に弱点克服のための+αの練習に力を入れる必要があります。パート長として、メンバーそれぞれの課題をきちんと把握し、それぞれにあった練習ができるようにしたいと思います。目標達成の先にあるのはもちろん・・・22大駅伝でのリベンジです！！何かとまとまりに欠けると思われがちの中長女子パートですが、最高のチームであることを駅伝で証明することを約束します。

跳躍ブロックの抱負

跳躍ブロック長 森 あゆ美

私が跳躍ブロック長となって、とても楽しく毎日の練習をこなせています。

跳躍ブロックは皆とても明るく、どのブロックよりも楽しく練習できていると思います。しかしこの楽しさは一般的に言われている「楽しさ」ではありません。私が陸上をやるときにいつも心がけているのは、どんなキツイ練習をしても、大事な試合に出て緊張しているときも、常に楽しい気持ちであることです。跳躍ブロックには、常に自分の成長を感じながら陸上競技をして欲しいと思っています。しっかりと練習を自分がこなせている事を自信にして、試合で思いっきり自分を表現できるプレイヤーになって欲しいです。

このブロックは、まだまだ伸びる要素のある人が揃っているブロックだと思います。みんなが今年満足のいく成績が残せるようにしっかりとブロック長を務めたいです。

投擲ブロックの抱負

投擲ブロック長 二見有紀乃

ブロック長も2年目。他ブロックが新ブロック長に引継ぎ、フレッシュな雰囲気やっている中、老け込まないように、若さを全面に押し出して、引っ張っていきたくと思います。そして20年度はまた新入部員が入ってきます。それ以外にもたくさん入ってくる予感がしています。新1年生がいち早くとけ込めるようにいい雰囲気をつくり、またそれぞれが自分の目標を達成できるよう、各々のレベルや意識を把握し、うまく練習のサポートをしていきたいと思っています。競技面だけでなく、陸上競技を通して人として成長できるように、まずは私自身がそういった何か模範となるようなことをしていきたいと思っています。

反省でも述べましたが、この1年でブロックとして大きく成長できたのではないかと私は思っています。さらに良いブロックにし、いい形で弓削にブロック長を引き継げるように、この1年出来ることを精一杯やりたいと思います。上地先生、新幹部のみなさま、そして投擲ブロックの方、・・・もはや陸上部のみんな！！どうぞよろしく願いいたします。

マネージャーブロックの抱負

マネージャーブロック長 鈴木晴香

昨年10月にブロック長を引き継ぎ、もうすぐ4ヶ月が経とうとしています。

昨年度は大所帯だったマネージャーブロックも、今年度はいつも頼りにしていた4年生2人が卒業することとなり、少し不安な面もありますが、人数が減ってもマネージャーとしてきちんとその機能を果たし、マネージャーからも部を盛り上げられるように活動していきたいです。

また、選手一人ひとり様々な面が異なります。そのため、当然一人ひとりのニーズや、必要としているサポートも異なると思います。ただ皆に同じサポートをするのではなく、目の前にいるその人が、今必要としていることは何なのかということを考えて動けるのはマネージャーならではの役割だと思います。そのためにも、普段から皆と積極的にコミュニケーションをとっていきたくです。そして常に初心を忘れず、基本的なことこそ大切にしていきたいです。

今年度もマネージャーブロックをよろしく願います。

IV. 2008 年度活動予定

2008 年度活動予定

日程	大会名	場所
05/17, 18 24, 25	第 87 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	国立競技場
06/07, 08	全日本学生チャンピオンシップ	平塚（神奈川）
06/26-29	日本陸上競技選手権大会	等々力（神奈川）
07/04-06	茨城県陸上競技選手権大会	笠松（茨城）
08/09	国体予選	笠松（茨城）
08/10	第 43 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	千葉
08/22-24	第 81 回関東陸上競技選手権大会	笠松（茨城）
08/26, 27	関東甲信越大学体育大会	熊谷（埼玉）
09/12-14	第 77 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	国立競技場
09/	第 19 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場
09/	第 23 回国公立 22 大学対校陸上競技大会	静岡
10/3-7	国民体育大会	大分
10/25	第 59 回北関東五大学対校陸上競技大会（主催校）	笠松（茨城）
10/	第 85 回東京箱根間往復大学駅伝競争予選会	昭和記念公園
11/	第 7 回国公立 22 大学対校駅伝大会	昭和記念公園
12/	三浜駅伝	ひたちなか
12/21	第 9 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷
12 月末	宇都宮大学合同合宿	笠松
2009/01/	日立駅伝	日立
01/	第 57 回勝田全国マラソン	ひたちなか
03/	春合宿	未定
03/08	日本学生ハーフマラソン	昭和記念公園
03/	楮川駅伝	楮川ダム（水戸）

今年はいよいよ北京オリンピックが開催されます。オリンピックイヤーは世界中がスポーツで盛り上がります。陸上競技はもちろんのこと、様々な競技の一流選手のパフォーマンスから多くのことを学ぶとともに、スポーツの素晴らしさをあらためて実感する良い機会にしたいと思います。

茨城大学陸上競技部としては、10 月に北関東五大学対校陸上大会の主催があります。昨年、関甲信を主催した経験を生かして、立派な大会にしたいと思いますので、茨城 AC、茨城陸協をはじめ、皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。また、関東選手権が茨城県主催で行われます。例年、関東選手権は個人で自由参加という形になっていましたが、今年は地元開催ということもあり、チームとして参加し、大会を盛り上げていきたいと思っています。（文責：上地）

V. 卒業・修了生より

小川孝

6 年間、茨城大学陸上競技部に在籍しましたが、よくも悪くも多くの経験をする事ができました。これらの経験、それによって得られた考察は、大学に入学した時よりも、私自身を大きく成長させてくれたと実感しています。特に、大学院のコーチとしての 2 年間は、これまでの競技者から、指導者としての視点で陸上競技と接することで、今まで見えなかった陸上競技の楽しさを知り、充実した時間を過ごすことができました。至らなかったことが多かったと思いますが、私が勉強し伝えた情報が、少しでも後輩の皆さんの記録向上に役立つことができれば幸いです。



最後になりましたが、監督の上地先生からは、多くのご指導を頂きました。心から感謝を申し上げます。また、多くの時間を共に過ごした部員の皆様のおかげで、充実した部活動になりました。本当にありがとうございました。そして、6 年間も陸上競技に関わったのは、理解のある両親がいたからです。ありがとうございました。大学院教育学研究科／2005 年度卒／教育学部スポーツコース／跳躍／三段跳 13m96／コーチ

4年間を振り返って

青木卓也

大学の4年間は高校の3年間より個人的には短く感じました。それだけいろんな事があったし、その中心が部活だったと思います。たくさんの先輩、後輩、先生方と知り合う貴重な体験も出来たし、個人の考え方の違いや時間の大切さ、協調性なども学びました。陸上部にいなかったらこんな考え方もしていないだろうし、大学生活に心に残る思い出も少なかったんじゃないかなと思います。また、「あの時こうすれば良かった」なんて後悔することも多々ありますが、その気持ちを忘れず、これからの人生に活かしていきたいと考えています。

お世話になった先生方や先輩方、後輩達、今までありがとうございました。皆さんの意見は部活の事を含め、様々な場面で参考になりました。そして今年卒業するみんな、何だかんだ色々あったけどやっぱり楽しかった。このメンバーで4年間やれて良かった、ありがとう！

工学部機械工学科／短距離／400m 51.41



4年間を振り返って

秋山陽祐

茨城大学陸上競技部に所属し、先生方、先輩、同輩、後輩だけでなく地域の方などのさまざまな考え方を教えていただき、自分を少しずつ成長させることができました。先輩方は私にしっかりと土台を与えてくださり、同輩・後輩には日々の姿勢などから刺激を与えられました。また先生方には、試合内容をしっかりと見て下さったり、日々熱意あるご指導をして下さり、本当にお世話になりました。よい仲間にも恵まれ、やりやすい環境で陸上を続けられて、茨城大学陸上競技部に入ってよかったです。

競技面としては大きな怪我もなく競技を続けることができました。印象深かったのは今年度です。皆さんと共に対校戦や駅伝で必死になれたし、また普段練習に参加できることが少なくなり、皆さんと一緒に練習したり、過ごしたりする時間がどれだけよいものかということを実感しました。特に嬉しかったことは同じ場所で練習してきた同期の川瀬と佐藤と同じ日にそれぞれの望んだ種目で自己ベストを出せたことです。今年度に入って練習する時間は限られていましたが、その中で共に練習を積んできてよかったですと思いました。

最後に、社会に出る4年生は今年で競技に終止符を打つ人がほとんどだと思います。私には幸い陸上競技に打ち込もうと思えばできる時間があと2年ほど与えられています。そういうことを感じながらあと2年間、皆さんと共に飛躍できればと思っていますので、まだまだ茨城大学陸上競技部にお世話になりますが、よろしくお願いします。

工学部機械工学科／中長距離／1500m 3.56.42（歴代1位）、5000m 14.55.65（歴代1位）、10000m 30.35.03（歴代1位）



4年間を振り返って

鬼沢美穂

茨大陸上部に入ってマネージャーとして過ごした4年間は本当にあつという間で、自分自身を成長させる場になったと思います。もし陸部に入らなかったとしたら、自由に使える時間は増えるかもしれませんが、しかし、それ以上にたくさんの人と出会えたことや、その仲間から教えてもらったことは貴重な経験になり、陸部に入って良かったなと素直に思えます。一つの競技に向かって様々なことを犠牲にしながらも懸命に頑張る選手の姿はすごいと感じたし、私自身も励まされました。ありがとう☆★また、ブロック長を通して少しは成長できたかなと思います。今までは人の上にたち、中心になることはほとんどなく、最初のうちは戸惑いもありましたが、周りの人たちの支えでやり通すことができました。人が成長するには周りの人たちの支えって必要だと思います。常に感謝の気持ちを忘れずにいて下さいね♪（もちろん自分も）

それから、4年間ではやっぱり人とわいわい話したり、飲み会の思い出が楽しかったな☆飲み会ではアホなこと（話）もしたり、真面目な話もしたり、普段では見ることのできない皆さんの一面が見られて良かったです!!!!

茨大陸上部に入ってマネージャーになって、本当に良かったなと思います。皆さん、ありがとうございました!!!
教育学部社会情報コース／マネージャー



4年間を振り返って

川瀬智美

陸上競技部での活動は、大学生活の大部分を占めることとなりました。楽しかったことも陸上部。大変だったことも陸上部。様々な経験を陸上部でさせていただきました。

1年生の頃はマネージャーとしての仕事もままならず、人間的にもまだまだ子どもで、どうしようもないものでした。そんな私でしたが、4年間のうちに少しでも成長出来た気がします。それは何と

いっても、陸上部での人との出会い・人との関わりによるものでした。陸上部には、色々な人たちが集まっていました。それぞれの価値観を認めること・コミュニケーションの大切さを学びました。

選手が練習しやすいように、マネージャーとしてしっかり仕事をこなすこと・周りを見て行動すること、などを教えてくれた人たちがいました。

選手の皆さんの陸上をしている姿が素敵すぎて、大きな声で我を忘れて応援するまでになりました。

私は、周りの皆さんに支えられてここまで来れました。集団の中にいるということは、得ることもまた多いものです。何もない日なんてありませんでした。日々何気なく過ごしてしまい忘れがちですが、そういった環境にいられたことは本当に貴重な経験だったんだ、と実感しています。

そんな素敵なお茨大陸上部、本当に大好きです！！そう思って卒業できることが嬉しいです。4年間ありがとうございました。

教育学部児童情報コース／マネージャー



陸上競技部を振り返って

川瀬大智

高校時代はほとんど実績のなかった自分が大学の4年間で1500mで関カレ出場や駅伝優勝などたくさんのいい経験ができました。ここまで自分が成長できたのも一緒に練習してきた仲間が存在が大きかったと思います。一緒にやることで、きつい練習に耐える事ができたり、応援してくれる仲間がいたから対校戦や駅伝では練習以上の力が出せたと思います。特に4年になってあまり普段の練習時間とは合わない中でもしっかり練習が積めたのは、つらい環境でも共にがんばっている仲間がいてくれたからでした。

こんな風に誰かと一緒に本気で陸上をやれる機会は、大学を卒業してからはほとんどできないと思います。だからこそ一日一日の練習を大事にしてください。お世話になった先輩や同期、後輩、先生やOBの方々今までどうもありがとうございました。

工学部知能システム工学科／中長距離／800m 1.59.27, 1500m 3.59.65 (歴代5位), 5000m 15.05.06 (歴代4位)



4年間を振り返って

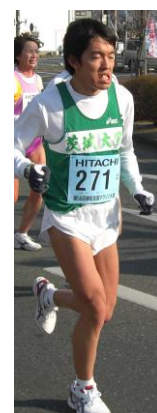
佐藤伸行

陸上競技部で活動した4年間を振り返ってみて思うことは、競技で記録を出すためには記録を出せる機会を逃さないということです。4年間を通じてケガが多く、対校戦で力を出せないことやその間の記録会に参加できないことも多々あり、そのため、4年生の10、12月になってようやくトラックレースのベスト記録を出す結果となりました。4年生の始めに5000mのベストが出ていれば駅伝で走れたのではないかと少し後悔している僕がいます。後輩の皆さんには記録を出せる機会を逃さないためにケガに十分に気をつけてほしいことと、競技に対してやる気を失わないようにすることを伝えたいです。

あと、4年間を通じてひとつ不思議に思うことは、陸上部内で「SUMISU」という呼び名が変わらなかったことです。1年生の時に名付けられてから4年生になるまで先輩にも後輩にもこの名で呼ばれ、僕の本名を忘れてる人がいそうで……。1度くらい本名で呼んでください。

最後に、陸上競技部で活動したなかで出会った皆さんへ、4年間の活動が楽しく良い思い出になったのも皆さんのおかげです。感謝しています。4年間ありがとうございました。

工学部都市システム工学科／中長距離／5000m 15.50.61



僕の4年間

鈴木昇平

後輩からの依頼で4年間を振り返り文章を作成しろということで…。パソコンを開いてこうして考えてみると多くの思い出が出てきます。その中でこれが1番、あれが2番と順位をつけることはできません。しかし、最初に「ボンッ」と出てきたのは、部の運営に迷走した自分自身のことです。大義名分は「みんなのために」。本音は「自分のために」。結果ふたを開けてみると多くの人を巻き込み、傷つけてしまったように思います。

この4年間、僕は果たして何を成し遂げたのだろうか。後輩たちに何を伝えることができたのだろうか。結局ただの迷惑者、いてもいなくても変わらない人、はたまた偉大な人……。どれに属するのだろうか。時間があると考えています。浮かんでくる疑問になかなか4年間振り返っても「これ」といった答えは見つからないものです。しかし得たものはそんな疑問だけでなく、確固たるものもありました。それは、今後変わることの無い信頼関係を築くことができた仲間を作ることができたこと。これは胸を張っていえることです。僕の4年間の自己評価は決して高いものではありません。でも、そんな未解決な多くの疑問と、もぎ取った確固たる真実を生涯の宝にこれからの新しい社会へ飛躍していく決意です。

4年間、陸上競技を通して関わったすべての人にこの場を通して感謝を申し上げます。
教育学部保健体育科/跳躍/走高跳 1m95 (歴代3位)



茨城大学陸上競技部での4年間を振り返って

高藤 清人

今回、部誌を作成するにあたり、改めて陸上部で過ごした4年間を振り返ろうと思う。まず競技を振り返ってみると、特に印象に残っているレースが二つある。一つ目は一年生の時の22大学対校のマイルである。予選でなぜか失格と言われ、皆でビデオを持って猛抗議してなんとか決勝に行けた。決勝は5位であったが大会の最後に大声援を受けて走った時のあの緊張感、爽快感、達成感は忘れられない。もう一つは三年の関東インカレの4継の準決勝である。誰かが検査に引っかかって練習に来なかったり、コールに遅れそうになったり、アップ不足だったり、微妙にパスミスしたり、ハプニングのオンパレードだったが、横浜国際で走ったのは本当に気持ちがよかった。また、この大会は主将として迎える初の対校戦だったので、他の面でも記憶に残る大会であった。

競技以外のことを振り返ると、これも数え切れない思い出がある。夏休みの練習後のドリンクバーは最高だった。鍋やったり、飲み明かしたり、合宿、大会の夜などいろんな事がありすぎるぐらいあった。そして主将という貴重な経験をさせてもらった。頼りない主将であったと思うが、本当にたくさんの方の支えがあったので一年間やって来られたと思う。誠にありがとうございました。

考えてみれば、茨城大の陸上競技部にいたおかげで部内だけでも100人近い人と知り合うことができた。他大、大会関係者、一緒に走ったことがある人等も合わせれば何百、何千という人と関わりが持てた。その事は大変面白く、またこれからの人生にとって貴重な財産であると思う。あっという間だったけれども大変充実した4年間であった。

最後にこのような貴重な場を与えてくれた茨城大とグラウンド、部室にも感謝！
理学部自然機能科学科/短距離/100m 11.25, 200m 22.95, 400m 51.00/主将



4年間を振り返って

沼尻健寿

大学4年間で何か成し遂げたわけでも無く、何か残したわけでも無い。ただ、自由に陸上競技をやらせてもらっていたような気がする。所謂、迷惑部員だったかもしれない。それでも寛大な先輩がいたり、あいつはそういう奴だと認識していた後輩がいたからやりやすかった。大学4年間のうち、一番よかったと感じるのは1年生の時だった。環境が変わり生活が新鮮だったこと、怪我で全力疾走できなかった私が少しずつできるようになったこと、対校戦のリレーで結果を残せたことなどが挙げられる。あの頃は、走っていて楽しかった。責任も重くなく、何も考えず、ただ走るだけだったからだと思う。高校時代、陸上をやめると決めた私が、今走る楽しさを感じることができるのは、あの1年があったからだと思う。楽しいことは続けられる。これから指導する立場になっても、陸上競技に限らず、運動の楽しさを伝えていければなと思っています。迷惑部員でしたが大変お世話になりました。

教育学部スポーツコース/短距離/100m 10.90 (歴代3位), 200m 22.08 (歴代4位), 400m 49.34 (歴代6位)



陸上部の思い出

水澤貴之

陸上部の思い出は、やっぱり合宿だと思います。みんなで、ただただ一生懸命体を鍛えて、そしてみんなでご飯を一緒に食べて、風呂に入って。こういう経験は部活に所属してないとなかなかできない経験でした。こういう経験を通して、仲間意識やチームワークが生まれてくるのだと感じました。

私は今のところ人生の半分以上を陸上とともに過ごしてきましたが、これまでに思ったことは陸上競技は個人競技であるけれども、決して1人ではできないということ。1人で練習しても絶対に強くなれない。仲間と共に練習し、また切磋琢磨することにより強くなれる。あいつに負けたくない、こいつに負けたくないと思ったら決して同じ練習メニューでは満足できないと思います。強くなるためだけの仲間ではないけど、悪く言えば利用できるなら利用した方がいいと思います。

簡潔に言いますと、信頼できる仲間を持ってほしいと言うことです。後は、目標を持って大学生活を送って下さい。頑張ってください。

教育学部健康コース／投擲／やり投 47m



VI. OB/OG近況報告・現役部員へのメッセージ

石川ちひろ

部員のみなさんお久しぶりです。わたしは現在、茨城県の小学校で講師をしています。毎日、たくさんの子供たちにかこまねながら楽しく過ごしています。来年度からは正式に教諭としてのスタートを切ることになりました。

大学を卒業して1年が経ちますが、いつも陸上部でのことをなつかしく思い出します。4年間という短い間でしたが、よく走ったなと思うと同時に、充実した生活が送っていたなとつくづく感じています。競技に打ち込み、一生懸命やり抜くことができたことは今でも自分自身の誇りになっています。また、同じ目標に向かって頑張れた仲間がいたことも誇りであります。現役のみなさんには、ぜひ陸上競技に打ち込んで充実した4年間を過ごすとともに、仲間とはよい関係を築き、陸上競技で得たさまざまな気づきを大切にしていって欲しいと思います。

陸上競技は自分自身に厳しい競技ですが、きっと自分に返ってくるものは大きいと思います。どうか、悔いのないよう精一杯陸上に取り組んでください。これからの茨城大学陸上競技部の発展をお祈りしております。

2006年度卒／教育学部保健体育科／短距離・ハードル／100mH 14.07（歴代1位）、400mH 61.34（歴代1位）



大野裕隆

茨城大学陸上競技部のみなさん、毎日練習頑張っていますか？私は日々の仕事に追われ、とても体を動かす時間がとれません。そのため体型はメタボ気味になってきてしまいました。このままではあと2、3年で大変なことになってしまいそうです。

さて、近況報告ということですが、現在私は宇都宮市立若松原中学校で教鞭をとっております。...なんて偉そうに言いますが、まだまだ未熟で、日々勉強の毎日です。私は3年の副担任なので、最近受験関係の事務処理で大変でした。もうすぐ卒業式です。1年は過ぎてみるとあつと言う間でした。卒業式の練習で、私はすでにジーンときてしまいます。本番泣くかも。

今年恵まれていたことは、1年目から部活で陸上部を持つことができたことです。自分が今までやってきたことが、いかに偏っていたのか痛感しました。専門以外の種目についても勉強し、いろいろな先生とも知り合えました。不思議なもので、現役を引退してから後、現在がこれまでの人生で一番陸上が楽しいと感じています。まだまだ引退は早いので、来年度からはどんどん走りたいと思っています。担任も任せられ、大変さは増すと思いますが、常に前向きに頑張っていきたいです。

最後にみなさんにメッセージですが、私が慕っている陸上（長距離）の先生が生徒にいいことを言っていたので、引用させていただき紹介したいと思います。（中学生相手なので、口調がちょっと子ども向きですが...）

「天才っているよね。走るのがすごく速い人。大会でも簡単に1番になっちゃう人。でもね、この人は1回1番になっちゃうと、次は負けちゃうんだ。誰に負けちゃうかわかるかな？それは努力をする人だよ。天才は簡単に勝てるから、努力をして勝つ喜びがわからない。だから、努力のあとの喜びを知っている人にはかなわないんだ。でもね、そんな努力家でもいつか負けてしまうんだ。どんな人に負けちゃうかわかる？それは、走るのが好きな人だよ。だって好きだから、辛



い苦しいって思わないから、いくらでも走れちゃう。努力をする人は辛くても頑張ろうってやっているから、いつか限界がきちゃうんだね。でも好きで好きでしょうがない人には限界がない。毎日毎日自分が好きなことをやってるんだもの、こんな幸せなことはない。だから自然と強くなって、天才にも努力家にも勝っちゃうんだね。みんなは陸上好きかな？走るの好きかな？どんどん好きになって、強い選手になってください。」

みなさんも陸上が好きで集まった仲間でしょう。これからも好きなことを追究して行って、素晴らしい経験をたくさん積んで行ってください。私はいつも隣の県から応援しております。

2006年度卒／人文学部社会科学科／中長距離／800m 1.58.31（歴代9位）

木村 亮

平成19年3月に卒業しました、木村です。現役時代は中長距離ブロックに所属して5000m、3000SCを中心に競技していました。茨大を卒業した私は現在、鉄道の電気設備工事会社に就職し、電車のパンタグラフと常に接触している架空電線の施工等の仕事を行っています。陸上部出身というだけでやたらと力仕事ばかり任せられることが多いです。まだまだ新人です。

また私自身、卒業後も走り続けています。夜道を走りに行ったり地元のロードレース（ハーフや10km）に出場したり、とまだまだ走り続けています。市民ランナーですけどもね。フルマラソンを走る体を作ることを目的としつつ、今は走るのを楽しむことをモットーとしています。

現役部員の皆さんは冬季練習からシーズンへの移行時期だと思います。一人一人怪我に気を付けつつ、高い意識と目標を持って頑張ってください！皆さんの活躍をこれからも期待しています。対校戦や駅伝をコッソリ観に行くかもしれないので見掛けたりしたら声かけてください（笑）

2006年度卒／工学部電気電子工学科／中長距離／1500m 4.13.96, 5000m 15.44.04, 3000mSC 9.54.64



こんにちは、皆さんお馴染みの佐藤耕二です。皆さんお分かりだと思いますが、現在は研究室の教授の繋がりです産業技術総合研究所つくばセンターで技術研究員として職員さんの手足となって研究しております。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんとは学年が一つしか変わらないこともあり、散々振り回して沢山迷惑をお掛けしました。

皆さんに贈るメッセージは、「勝負の世界に生きてきた大学4年間を誇りに思ってください」ということです。私の今の研究はまさに勝負の世界です。頑張れば勝てるというものではありません。頭使っても努力しても間違った方向に行くことも沢山あります。よい成果を出せても負ける時は負けます。だから大学陸上生活で培ってきたプライドが今一番役にたっています。「勝ちたい」とか「もっと強くなりたい」という思いが今の自分の原動力です。（でも、上司と喧嘩すると大変なので気をつけてください。）

それでは皆さん、4年間お疲れ様でした。

2006年度卒／理学部自然機能科学科／混成／10種 4977点（歴代8位）棒高跳 3m60（歴代10位）



佐藤 耕二

こんにちは。昨年卒業した土屋です。

現在東海村の役場に勤務しています。最近、やっとなんとなく社会人ぽくなってきた気がします。仕事は教育委員会で、文化・スポーツを担当しています。遺跡の発掘調査で炎天下の中、1mほどの穴の中でハニワを掘り出したり、マラソン大会の運営をしたり、陸上教室に足をつっこんだりしています。（会った方もいますよね！）陸上に関わると、やはり陸上から離れたくないという気持ちが倍増していきます。

仕事で、陸上の分野になると、いつもは亀のように黙っている私が堂々と発言しています。一生懸命やってきたことは自信につながるのだと実感しています。大学時代のことを思い出すと後悔することもあるありますが、やはり、何かあったとき真剣に向き合い、悩んで結論を出したことは、自分の自信になっています。（青春の賜物です）つらいときも逃げ腰はよくないです。みなさんにも「壁にぶち当たったとき」を大事にして欲しいと思います。（青春です）卒業すると皆そのようなことを言っている気がしますが、最近しみじみと



土屋奈津子

感じているところです。それでは・・・充実した陸上生活を送って下さい！

最後に一言、東海新春マラソン出してみませんか?? (詳しくは土屋まで)

2006 年度卒 / 人文学部人文学科 / 短距離 / 200m 25.46 (歴代 1 位) , 400m 57.03 (歴代 1 位)

中島友弘

私は今、千葉県の小学校教員です。生活は大きく変わり、朝 5 時前に起き、家に帰るのは 22 時過ぎです。どんな仕事でも同じだと思いますが、はじめて大変です。正直、続けていけないと思うくらいのつらい日々が、ついこの前まで続いていました。しかし、最近は何となく続けていけそうな感じになり、進んで夜遅くまで残って働いている状態です。気持ちはどう変わるか予想できないものですね。ようやくスタートラインに立った感じです。

先のことは良さも悪さも、その状況になってみないとわかりえないことばかりです。案じるだけ時間ももったいないと思います。先のことで必要以上に悩んでいる後輩はいませんか? 考えすぎず、今できること、近くにいる仲間を大切にしてくださいね。私はあれこれ悩んできたタイプですが、悩んだ経験よりも、陸上部の仲間がいることの方がよほど力になっています。仲間との時間を大事にすれば、今も楽しく、将来にも役立つ! 一石二鳥だと私は思います。

2006 年度卒 / 教育学部保健体育科 / 短距離・ハードル / 110mH 15.79 (歴代 5 位) , 400mH 55.71 (歴代 9 位)



教職の現場から

村上裕太郎

こんにちは。僭越ながら何代か前に主将を務め、勝田マラソンの翌日からインフルエンザに感染しました村上です。部内で流行したのは僕のせいです。すみません。したのかな?

現在、茨城県潮来市の中学校で教師をしています。教科は数学、1 年 2 組の担任、野球部の(副?)顧問です。この仕事のよいところは、食費が給食のおかげで余りかからないことですね。おかげで食費^{ゆうゆうじてき}≒ビール代な生活を送っています。そのかわり時間外労働は手当がつかないくせに多いです。もう尋常じゃない。学校に行かないとむしろ不安になる。でも、その分成果が出たときは何よりも嬉しいです。

現役部員の皆さんに。僕が教員採用試験を突破できたのは、陸上を通して自分を磨くことができたからだと思います。何のために陸上をするのか、陸上を通して何を成し遂げたいのかを試行錯誤しながら歩んできた結果だと思います。参考になれば幸いです。

できるうちに何でもチャレンジして頑張ってください!!

2006 年度卒 / 教育学部理科 / 長距離 / 3000mSC 9.32.28 (歴代 6 位) / 主将



卒業して思うこと

吉永知子

ちょうど去年のいまごろ、卒業論文の発表も終わり、友達と行く卒業旅行や卒業後の進路のことなどで、頭の中は期待と不安でいっぱいでした。あれから 1 年。

昨年 4 月には、小学校の非常勤講師として新たな生活が始まりました。特別支援学級に配属され、温かい先生方とかわいい子どもたちに囲まれて、楽しみながら毎日を過ごすことができました。

9 月から現在までは、中学校の常勤講師として保健体育の授業と、2 学年の副担任をしています。毎日頭を悩ませるのは、授業の方法・内容や、たくさんの個性ある生徒との関係作りです。この半年間は、毎日があっという間に過ぎてしまいました。

来年度から私は、講師ではなく新規採用教員です。日々何もできない自分にいらだちを覚え不安ながらも、少しでもうまくいくように前向きに進んでいきたいです。

みなさんへのメッセージとして、、、ついこの間の休みに、茨大陸上部同期の I 川さんと 2 人でスキーに行きました! 今でもよく連絡をとりあっています。よりよい競技生活も、仲間がいなければできないと思います。仲間を大切に☆

2006 年度卒 / 教育学部スポーツコース / 跳躍 / 三段跳 11m52 (歴代 2 位) , 走幅跳 5m18 (歴代 4 位)



VII. 記録集

茨城大学記録・男子

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/09/11	日本インカレ	国立競技場
200m	杉崎 弘周	21.42(+2.0)	2001/09/02	新潟国体選考会	中条
400m	今村 明彦	48.06	1994/09/09	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1.53.9	1990/04/07	学連競技会	筑波大
1500m	秋山 陽祐	3.56.42	2007/09/15	関東新人	国立競技場
3000m	松下 祐一	8.54.39	1998/04/19	日立記録会	日立
5000m	秋山 陽祐	14.55.65	2007/09/30	国公立 22 大学	緑が丘
10000m	秋山 陽祐	30.35.03	2007/12/22	松戸記録会	松戸
10km	千葉 雅昭	31.20	1982/02/11	勝田マラソン	勝田
20km	渡辺 雄馬	63.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1.41.12	1974/02/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	秋山 陽祐	1.09.28	2008/03/09	日本学生ハーフ	昭和記念公園
マラソン	秋山 陽祐	2.24.46	2008/01/27	勝田マラソン	ひたちなか
110mH	中山 雄策	15.30(-1.0)	2003/10/4	国公立 22 大学	長野
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/08/23	関東選手権	笠松
3000mSC	井上 智弘	9.09.94	1995/05/16	関東インカレ	国立競技場
4×100mR	成石・杉崎・ 大久保・佐藤	40.75	1996/09/06	日本インカレ	国立競技場
4×200mR	浅井・佐藤・ 大久保・神尾	1.27.38	1995/05/28	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	浅井・成石・ 大久保・岡	1.57.44	1996/05/26	リレー選手権	笠松
4×400mR	岡本・神尾・ 飯塚・今村	3.15.01	1993/05/23	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・ 林・神尾	7.54.72	1994/05/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・ 千葉・金沢	16.38.8	1981/04/18	リレー選手権	笠松
走高跳	青木 博光	2m00	1985/09/08	関東選手権	小瀬
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/05/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09 (?)	1958/07/19	茨城県選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/05/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/08/20	関東選手権	敷島
円盤投	渡邊 将司	39m93	2000/08/11	関甲信	敷島
やり投	渡邊 将司	66m94	2000/10/19	国公立 21 大学	小瀬
ハンマー投	海老原大輔	43m26	2002/09/22	北関東五大学	敷島
十種競技	渡邊 将司	6676 点	1999/07/17.18	栃木県選手権	宇都宮

茨城大学記録・女子

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	柏 佑美	12.22(+1.9)	2001/09/02	国体予選会	笠松
200m	土屋奈津子	25.46(+1.8)	2004/08/26	関甲信	新潟
400m	土屋奈津子	57.03	2005/05/29	筑波大競技会	筑波大
800m	深谷ユリ子	2.14.97	1997/09/22	関東個人選手権	等々力
1500m	野田 春香	4.33.51	2007/09/28	国公立 22 大学	緑が丘
3000m	野田 春香	10.03.69	2007/08/25	関甲信	笠松
5000m	野田 春香	16.54.88	2007/08/18	関東選手権	神奈川
10000m	野田 春香	35.30.78	2007/06/23	茨城県選手権	笠松
5km	黒田 雅己	16.20	1992/11/29	潮来マラソン	潮来
10km	野田 春香	34.16	2008/01/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	野田 春香	1.15.58	2008/02/10	守谷ハーフ	守谷
マラソン	三国 智子	3.15.07	1991/11/03	勝田マラソン	勝田
100mH	石川ちひろ	14.07(+1.5)	2006/06/10	全日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2005/09/18	国公立 22 大学	国立競技場
4×100mR	松崎・佐々木・ 住谷・柏	48.77	2000/08/06	千葉対校	千葉
4×200mR	黒川・大内・ 長谷川・呉	1.48.72	1994/05/29	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	黒川・呉・ 長谷川・柴	2.22.05	1994/05/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	佐々木・石川・ 秦・土屋	4.01.53	2003/05/11	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	深谷・飯嶋・ 小林・柴	9.42.31	1994/05/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m71	2006/08/26	関甲信	千葉
棒高跳	長久保佳子	3m20	2001/06/29	茨城県選手権	笠松
走幅跳	住谷 典子	5m63	1999/08/06	関甲信	三ツ沢
三段跳	住谷 典子	11m84 (±0)	2001/10/13	千葉対校	笠松
砲丸投	鈴木 奈身	11m37	2000/06/18	北関東五大学	水戸
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/08/23	国体予選	笠松
やり投	高村理恵子	41m77	2000/06/18	北関東五大学	水戸
やり投(旧)	栗原 明子	42m86	1954/05/01	アジア大会	マニラ
ハンマー投	高村理恵子	49m14	2002/06/09	日本選手権	国立競技場
七種競技	斎藤 教子	3671 点	1984/06/23,24	茨城県選手権	笠松

2007 年度ランキング

男子

種目	順位	氏名	記録
100m	1	和田 和幸	11.14
	2	山本 悠輔	11.16
	3	西尾謙次郎	11.17
200m	1	和田 和幸	22.60
	2	山本 悠輔	22.90
	3	中野 雅利	22.94
400m	1	沼尻 健寿	50.40
	2	和田 和幸	50.88
	3	山下 弘文	51.43
800m	1	吉田 佑	1.56.96
	2	河野 光由	1.58.96
	3	井川 勝彦	2.02.95
1500m	1	秋山 陽祐	3.56.42
	2	岡崎 浩樹	3.59.63
	3	渡辺 雄馬	4.05.47
5000m	1	秋山 陽祐	14.55.65
	2	川瀬 大智	15.05.06
	3	渡辺 雄馬	15.23.13
10000m	1	秋山 陽祐	30.35.03
	2	蓮田 大樹	33.40.89
ハーフマラソン	1	秋山 陽祐	1.09.28
	2	渡辺 雄馬	1.10.04
マラソン	1	秋山 陽祐	2.24.46
	2	蓮田 大樹	2.39.33
110mH	1	後藤 雅彦	15.65
	2	山下 弘文	17.25
	3	上杉 明弘	17.34
400mH	1	上杉 明弘	54.30
	2	山下 弘文	55.26
	3	鈴木 遼	63.65
3000mSC	1	岡崎 浩樹	9.47.67
	2	手倉森洋人	9.50.29
	3	佐藤 伸行	9.56.94
4×100mR	1	山本・沼尻・西尾・中野	42.26
	2	後藤・和田・西尾・中野	42.76
	3	小河・上杉・西尾・山本	43.08
4×400mR	1	山下・沼尻・中野・上杉	3.18.79
	2	山下・山本・沼尻・上杉	3.22.04
	3	西尾・山本・吉田・上杉	3.23.19
走高跳	1	鈴木 昇平	1m90
	2	佐藤 耕二	1m65
	3	小川 孝	1m55
棒高跳	1	佐藤 耕二	3m50
走幅跳	1	小川 孝	5m62
	2	佐藤 耕二	5m54
	3	渡邊 学	5m39
三段跳	1	山下 弘文	13m00
	2	小川 孝	12m63
	3	渡邊 学	12m07
砲丸投	1	佐藤 耕二	8m11
	2	山下 弘文	7m85
円盤投	1	佐藤 耕二	28m12
やり投	1	佐藤 耕二	39m81
	2	山本 悠輔	33m47
十種競技	1	佐藤 耕二	4668 点

女子

種目	順位	氏名	記録
100m	1	生井 美有	12.97
	2	鈴木 麻理	13.20
	3	石崎あゆみ	13.55
200m	1	鈴木 麻理	25.80
	2	生井 美有	26.78
	3	森 あゆ美	28.20
400m	1	鈴木 麻理	59.87
	2	吉原さゆり	63.91
	3	石澤ゆかり	65.06
800m	1	石澤ゆかり	2.19.07
	2	嶋田絵里子	2.20.50
	3	鶴見 彩	2.28.06
1500m	1	野田 春香	4.33.51
	2	笥 千佳	4.41.92
	3	石澤ゆかり	4.50.10
3000m	1	野田 春香	10.03.69
	2	笥 千佳	10.07.25
	3	鶴見 彩	11.15.30
5000m	1	野田 春香	16.54.88
	2	笥 千佳	17.28.48
10000m	1	野田 春香	35.30.78
10km	1	野田 春香	36.30
ハーフマラソン	1	野田 春香	1.15.58
100mH	1	生井 美有	14.71
	2	石崎あゆみ	15.86
	3	石川 あい	16.47
4×100mR	1	石崎・生井・鈴木・森	48.82
	2	二見・荒木・石川・尾崎	56.19
4×400mR	1	鈴木・石澤・嶋田・生井	4.06.10
	2	吉原・鈴木・石澤・嶋田	4.15.96
	3	石崎・尾崎・石川・笥	4.37.37
走高跳	1	森 あゆ美	1m70
	2	尾崎 友美	1m55
走幅跳	1	石崎あゆみ	4m85
	2	荒木 千尋	4m36
三段跳	1	石崎あゆみ	11m32
砲丸投	1	弓削真理子	10m99
	2	二見有紀乃	9m47
円盤投	1	二見有紀乃	36m00
	2	荒木 千尋	21m48
	3	弓削真理子	19m08
やり投	1	石崎あゆみ	29m49
	2	尾崎 友美	22m73
	3	二見有紀乃	17m13
ハンマー投	1	弓削真理子	43m98
	2	二見有紀乃	42m95

対校戦順位一覧

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
関東甲信越大学体育大会（男子総合8位・女子総合4位）						
1	山梨大	山梨大	山梨大	筑波大	都留文科大	筑波大
2	筑波大	横国立大	筑波大	都留文科大	筑波大	山梨大
3	群馬大	筑波大	群馬大	横浜国立大	横浜国立大	都留文科大
国公立22大学対校陸上競技大会（男子総合11位・女子総合3位）						
1	山梨大	東京学芸大	山梨大	都留文科大	都留文科大	都留文科大
2	東京学芸大	山梨大	新潟大	横浜国立大	横浜国立大	茨城大
3	埼玉大	横浜国立大	東京学芸大	茨城大	茨城大	山梨大
北関東五大学対校陸上競技大会（男子総合4位・女子総合優勝）						
1	群馬大	埼玉大	群馬大	茨城大	茨城大	茨城大
2	埼玉大	群馬大	宇都宮大	宇都宮大	埼玉大	宇都宮大
3	宇都宮大	茨城大	埼玉大	群馬大	宇都宮大	群馬大
国公立22大学対校駅伝大会（男子3位・女子2位）						
1	信州大	—	—	東京学芸大	—	—
2	新潟大	—	—	茨城大	—	—
3	茨城大	—	—	信州大	—	—
荒川河川敷大学対校駅伝競走大会（男子2位・女子優勝）						
1	防衛大	—	—	茨城大	—	—
2	茨城大	—	—	?	—	—
3	横浜国立大	—	—	?	—	—

VIII. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	小川 孝	宇都宮東/栃木	跳躍	教育院/スポーツ
院2	佐藤 亘	成東/千葉	短距離	理工院/機械
院1	佐藤 耕二	新城/神奈川	混成	理工院/自然
4年	青木 卓也	藤代/茨城	短距離	工/機械
4年	秋山 陽祐	磐城/福島	中長距離	工/機械
4年	鬼沢 美穂	湖北/茨城	マネージャー	教育/社会情報
4年	川瀬 大智	巻/新潟	中長距離	工/システム
4年	川瀬 智美	新発田/新潟	マネージャー	教育/児童情報
4年	佐藤 伸行	太田一/茨城	中長距離	工/都市システム
4年	鈴木 昇平	伊勢/三重 ※	跳躍	教育/保健体育
4年	沼尻 健寿	つくば秀英/茨城	短距離	教育/スポーツ
4年	水澤 貴之	高田北城/新潟	投擲	教育/健康
3年	石川 あい	下妻第一/茨城	短距離	教育/保健体育
3年	石崎あゆみ	水戸三/茨城	跳躍	教育/健康
3年	岡崎 浩樹	小松/石川	中長距離	工/メディア
3年	笥 千佳	常葉菊川/静岡 ※	中長距離	教育/健康
3年	嶋田絵里子	牛久/茨城	中長距離	教育/健康
3年	高橋 友	酒田東/山形	マネージャー	人文/人文
3年	中野 雅利	東海/茨城	短距離	教育/技術
3年	西尾謙次郎	浜松南/静岡	短距離	工/機械
3年	野田 春香	藤代/茨城	中長距離	教育/スポーツ
3年	山下 弘文	沼田/広島 ※	短距離	教育/保健体育
3年	吉田 佑	龍ヶ崎一/茨城	中長距離	教育/理科
3年	渡辺 雄馬	水城/茨城	中長距離	教育/保健体育

※（県外登録者）

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
2年	荒木 千尋	並木/茨城	跳躍	教育/健康
2年	井川 勝彦	大垣東/岐阜	中長距離	工/メディア
2年	小河 純	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/理科
2年	尾崎 友美	八王子東/東京	跳躍	工/生体
2年	河野 光由	太田一/茨城	中長距離	工/電気電子
2年	鈴木 辰昇	山形南/山形	短距離	工/情報
2年	鈴木 晴香	浜松市立/静岡	マネージャー	教育/養護教諭
2年	鈴木 遼	鹿沼/栃木	短距離	教育/保健体育
2年	高野 和文	盛岡第三/岩手	中長距離	工/情報
2年	鶴見 彩	藤代/茨城	中長距離	教育/健康
2年	手倉森洋人	八戸西/青森	中長距離	工/生体
2年	蓮田 大樹	藤代/茨城	中長距離	教育/保健体育
2年	早坂 菜央	宮城第二女/宮城	マネージャー	教育/健康
2年	二見有紀乃	真岡女子/栃木 ※	投擲	教育/スポーツ
2年	森 あゆ美	茨城キリスト/茨城	跳躍	教育/保健体育
2年	山本 悠輔	下田北/静岡	短距離	教育/保健体育
2年	吉原さゆり	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/教育基礎
1年	石澤ゆかり	鉢田一/茨城	中長距離	教育/社会文化
1年	上杉 明弘	水戸桜ノ牧/茨城	短距離	教育/スポーツ
1年	片岡 隆治	緑岡/茨城	中長距離	工/生体
1年	後藤 雅彦	那須拓陽/栃木 ※	短距離	教育/保健体育
1年	笹本 麻未	敦賀/福井	マネージャー	教育/健康
1年	鈴木 麻理	水戸第三/茨城	短距離	教育/スポーツ
1年	生井 美有	聖徳/茨城	短距離	教育/スポーツ
1年	弓削真理子	佐原/千葉 ※	投擲	教育/保健体育
1年	和田 明久	太田/群馬	中長距離	理/地球環境
1年	和田 和幸	木造/青森 ※	短距離	理/数理
1年	渡邊 学	郡山/福島	跳躍	教育/健康

編集後記

おかげさまで、第2号も無事発刊の運びとなりました。今回は前号の経験も踏まえ、学生達が積極的に編集に携わってくれたおかげで、私自身は殆ど手を加えることも無くスムーズに作業を進めることができました。学生達の能力の高さ、パワーをあらためて実感しました。

創刊号発行後、多くのOB、OGの方々からご意見やご感想を頂きました。ありがとうございました。これらのご意見を参考に、「Perspiration」の更なる充実を目指していきたいと思っております。一方で、住所変更や宛先不明等で本誌をお届けすることができなかった方々も多くいらっしゃいました。この場をお借りしてお詫び申し上げます。連絡先等につきまして是非ご一報下さいますようお願い申し上げます。

昨シーズンの学生達の活躍を振り返ると、まず関東インカレでは森が走高跳で第2位、弓削がハンマー投で第8位に入賞し、シーズン全体に勢いがつきました。中長距離では秋山、野田が茨城大学新を連発し、今年に入ってから秋山は勝田マラソンで第3位、野田は守谷ハーフマラソンで優勝するなど、目覚ましい活躍を見せてくれています。対校戦では22大で女子が総合3位、駅伝では男女とも常に上位争いに加わるなど、安定して力を発揮してくれました。他ブロックに押され気味だった男子短距離陣も、マイルリレーで久々に3分18秒台を出し、着実に力をつけていることを証明してくれました。また、運営面においても関東甲信越体育大会の主催という大役を果たしたことで、部全体が大きく成長した一年でした。今シーズンも更なる高みを目指して努力していきましょう。(上地)

茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしく願いいたします。皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページ URL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandfclub/>

顧問 上地 勝

〒310-8512 水戸市文京2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

茨苑 AC に関するお問い合わせ

〒310-0852 水戸市笠原町 979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第2号

平成20年3月25日発行

編集責任者

二見有紀乃 早坂 菜央

発行者 茨城大学陸上競技部